

平成16年 3月期 決算短信

平成16年5月12日

会社名： **東レインターナショナル株式会社**

上場区分： 非上場

(URL <http://www.toray-intl.co.jp>)

本社所在都道府県： 東京都

代表者： 役職名 代表取締役社長 氏名 渡部 毅

問合せ先： 役職名 経理部長 氏名 喜多 雅文

TEL 03(3245)2505

決算取締役会開催日 平成16年4月28日

中間配当制度の有無： 有り

定時株主総会開催日 平成16年6月24日

1. 16年3月期の業績（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

(1) 経営成績 (百万円未満四捨五入)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)
16年3月期	236,383 (23.7%)	2,328 (69.3%)	2,241 (59.8%)
15年3月期	191,102 (16.9%)	1,375 (7.0%)	1,402 (10.9%)

	当期純利益 (百万円)	1株あたり当期 純利益 (円)	株主資本 当期純利益率 (%)	総資本 経常利益率 (%)	売上高 経常利益率 (%)
16年3月期	1,167 (59.2%)	36.474	14.2%	3.4%	0.95%
15年3月期	733 (13.5%)	26.182	11.6%	2.7%	0.73%

(注) 期中平均株式数 16年3月期 32,000株
15年3月期 28,000株

会計処理の方法の変更 なし

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年増減率

(2) 配当状況

	1株あたり年間配当金 (円)			年間配当金 (年間) (百万円)	配当性向 (%)	株式資本 配当率 (%)
	中間	期末	(円)			
16年3月期	8,000	4,000 (予定)	4,000 (予定)	256	21.9%	3.1%
15年3月期	8,000	4,000	4,000	224	30.6%	3.5%

(3) 財政状態

	総資産 (百万円)	株主資本 (百万円)	株主資本比率 (%)	1株あたり株 主資本 (円)
16年3月期	64,950	8,192	12.6%	255.988
15年3月期	52,870	6,323	12.0%	225.823

(注) 1. 期末発行済株式数 16年3月期 32,000株 (額面株式1単位の株式数 1株)
15年3月期 28,000株

2. 17年3月期の業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株あたり年間配当金 (円)	
				中間	期末
中間期	116,700	870	510	4,000	-
通期	243,000	2250	1290	-	4,000

(参考) 1株あたり予想当期純利益 (通期) 40,313 円

3. 商品別売上高比率

部門	H16年3月期 (H15.4.1-H16.3.31)		H15年3月期 (H14.4.1-H15.3.31)		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
ファイバー	33,053	14.0%	25,507	13.3%	7,546	29.6%
綿花羊毛	11,591	4.9%	13,455	7.0%	1,863	13.8%
テキスタイル	22,905	9.7%	17,089	8.9%	5,816	34.0%
アパレル	31,010	13.1%	16,743	8.8%	14,267	85.2%
物資	12,831	5.4%	13,430	7.0%	599	4.5%
機材	18,244	7.7%	23,009	12.0%	4,764	20.7%
情報機材	21,292	9.0%	11,744	6.1%	9,549	81.3%
ケミカル	54,926	23.2%	43,450	22.7%	11,475	26.4%
プラスチック	30,531	12.9%	26,675	14.0%	3,856	14.5%
合計	236,383	100.0%	191,102	100.0%	45,282	23.7%

4. 形態別売上高比率

形態	H16年3月期 (H15.4.1-H16.3.31)		H15年3月期 (H14.4.1-H15.3.31)		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
輸出	80,642	34.1%	66,676	34.9%	13,966	20.9%
三国間	31,262	13.2%	28,870	15.1%	2,392	8.3%
輸入	45,600	19.3%	42,152	22.1%	3,448	8.2%
国内	78,880	33.4%	53,405	27.9%	25,476	47.7%
合計	236,383	100.0%	191,102	100.0%	45,282	23.7%

貸借対照表

平成16年3月31日現在

東レインターナショナル株式会社
(単位:千円)

科 目	第18期 (H16.3.31)	第17期 (H15.3.31)	増 減	備 考	科 目	第18期 (H16.3.31)	第17期 (H15.3.31)	増 減	備 考
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産					流動負債				
現金・預金	642,617	532,762	109,855		支払手形	3,501,371	3,815,043	313,672	
受取手形	10,342,518	7,247,971	3,094,547		買掛金	36,723,125	26,780,510	9,942,615	
売掛金	36,133,747	29,510,986	6,622,761		短期借入金	5,875,322	6,673,281	797,959	
短期貸付金	28,505	24,500	4,005		未払金	375,563	523,199	147,636	
商 品	9,939,355	7,753,253	2,186,102		未払費用	2,411,153	2,424,388	13,235	
前払費用	115,273	23,676	91,597		前受金	253,602	307,252	53,650	
短期債権	672,357	981,141	308,784		未払法人税等	749,132	400,992	348,140	
前払税金	837,698	15,052	822,646		繰延売上利益	113,941	155,069	41,128	
未収消費税	927,806	847,993	79,813		預り金	671,124	331,652	339,472	
繰延税金資産	702,138	611,896	90,242		賞与引当金	223,399	218,306	5,093	
預け金	407,764	3,000	404,764		クレーム引当金	66,883	123,912	57,029	
その他流動資産	381,806	315,573	66,233		その他流動負債	208,617	213,618	5,001	
貸倒引当金	(279,758)	(119,448)	(160,310)		流動負債計	51,173,238	41,967,228	9,206,010	
流動資産計	60,851,829	47,748,359	13,103,470		固定負債				
固定資産					長期借入金	5,170,000	4,317,500	852,500	
有形固定資産					長期預り金	238,573	95,825	142,748	
建物	123,151	108,305	14,846		役員退職給与引当金	92,127	124,337	32,210	
車両運搬具	42	42	-		退職給付引当金	84,707	42,505	42,202	
器具・備品	31,690	14,994	16,696		固定負債計	5,585,407	4,580,167	1,005,240	
土地	28,938	28,938	-		負債合計	56,758,645	46,547,395	10,211,250	
有形固定資産計	183,822	152,280	31,542		(資本の部)				
無形固定資産					資本金	1,600,000	1,400,000	200,000	
ソフトウェア	535,045	537,118	2,073		利益剰余金				
営業権	8,000	11,000	3,000		利益準備金	230,580	203,980	26,600	
電話加入権	3,140	1,337	1,803		別途積立金	4,940,000	3,890,000	1,050,000	
無形固定資産計	546,186	549,455	3,269		当期末処分利益 (内当期利益)	1,403,043 (1,167,152)	852,117 (733,094)	550,926 (434,058)	
投資等					利益剰余金計	6,573,623	4,946,097	1,627,526	
投資有価証券	808,103	709,090	99,013		株式等評価差額金	17,987	23,049	41,036	
子会社株式	2,980	2,980	-		資本合計	8,191,610	6,323,048	1,868,562	
長期貸付金	193,901	109,700	84,201		負債及び資本合計	64,950,255	52,870,443	12,079,812	
敷金	293,875	441,919	148,044						
繰延税金資産	146,802	240,351	93,549						
長期売掛金	2,512,614	3,400,066	887,452						
その他の投資	212,001	217,642	5,641						
貸倒引当金	(801,862)	(701,401)	(100,461)						
投資等計	3,368,416	4,420,348	1,051,932						
固定資産計	4,098,425	5,122,084	1,023,659						
資産合計	64,950,255	52,870,443	12,079,812						

- (注) 1. 有形固定資産減価償却累計額
 2. 重要な外貨建資産及び負債 ;
 3. 手形割引高
 4. 保証債務
 5. 手形流動化に伴う買戻義務上限
 6. 1株当たり当期利益

	66,815	64,644
外貨建投資有価証券	185,067	226,084
(11,843千HK\$他)	(11,818千HK\$他)	
	0	0
	171,746	192,320
(1,625千US\$)	(1,600千US\$)	
	4,621,913	3,627,838
	36,474円	26,182円

損益計算書

自；平成15年 4月 1日
至；平成16年 3月 31日

東レインターナショナル株式会社
(単位:千円)

科 目	第 1 8 期 (H15.4.1-H16.3.31)		第 1 7 期 (H14.4.1-H15.3.31)		増 減		備 考
(経常損益の部)							
(営業損益)							
営業収益							
売上高	236,119,157		190,973,195		45,145,962		
受取手数料	264,244	236,383,402	128,749	191,101,944	135,495	45,281,457	
営業費用							
売上原価	227,377,517		184,248,171		43,129,345		
販売費及び一般管理費	6,677,730	234,055,247	5,478,489	189,726,660	1,199,240	44,328,586	
営業利益		2,328,154		1,375,283		952,871	
(営業外損益)							
営業外収益							
受取利息・配当金	74,441		85,723		11,282		
為替差益	0		52,580		52,580		
雑収益	40,527	114,968	59,156	197,460	18,629	82,492	
営業外費用							
支払利息	80,523		62,602		17,920		
為替差損	22,118		0		22,118		
雑損失	99,937	202,579	107,830	170,433	7,893	32,145	
経常利益		2,240,543		1,402,310		838,232	
(特別損益)							
特別利益							
償却債権取立益	15,440				15,440		
債務保証損失引当金戻入額	0	15,440	26,236	26,236	26,236	10,796	
特別損失							
固定資産除却損	30,229		3,619		26,609		
投資等評価損	12,863	43,093	82,689	86,309	69,826	43,216	
税引前当期利益		2,212,890		1,342,237		870,652	
法人税住民税及び事業税		1,037,684		816,971		220,713	
法人税等調整額		8,052		207,828		215,881	
当期利益		1,167,152		733,094		434,057	
前期繰越利益		376,690		242,222		134,468	
中間配当		128,000		112,000		16,000	
利益準備金積立額		12,800		11,200		1,600	
当期末処分利益		1,403,043		852,117		550,926	

(注)親会社との取引高；売上高(千円)	35,149,801	31,619,553	3,530,248
仕入高(千円)	94,222,206	62,672,730	31,549,476
(参考)総取扱高(百万円)	252,329	204,118	48,211
(参考)売上総利益(百万円)	9,006	6,854	2,152

平成16年3月期

営業の概況

1. 営業の経過および成果

東レからのアパレル事業の移管（平成14年10月）に続いて、（株）ロンゼとの合併（平成15年4月）による業容の拡大を受けた新体制がスタートしました。

繊維においては原糸から最終製品までの幅広い商材の輸出入、国内販売を手掛ける総合繊維商社へと更に一歩前進することができました。

また、非繊維においても鉄鋼取引の開始や、ICタグ事業の開発など新商材、新商流の創出に注力致しました。

ファイバーではシートベルト、エアバッグ等自動車用途を中心に輸出が伸びました。テキスタイルでは前年に比べ大幅な円高進行による輸出採算悪化と、国内の環境悪化の影響を受け、苦戦を強いられました。

アパレルでは組織再編による商品と客先の整理見直しを完了し、今後の拡大の基盤を築きました。業績も夏物販売において冷夏の影響を受けましたが、全体としては堅調に推移し、営業利益の黒字化を達成できました。

一方、非繊維においてもプラスチック、ケミカルの輸出を中心に堅調に推移し、今年度の大幅増収増益に貢献しました。プラスチックではアジア市況の回復を受け、IT関連、工材関連の需要の持ち直しが見られ、電気、自動車用途向け樹脂の輸出が順調でした。

ケミカルにおいては原材料商内が好調な他、東京製鐵の中国向け鉄鋼輸出ビジネスを獲得しました。情報機材分野では電子回路材料や液晶材料関連商内がIT産業の復活に牽引され、同じく好調に推移しました。

この結果、当期の売上高（実質売上高とインデント手数料収入の合計額）は前期比23.7%増の236,383百万円と大幅な増収(45,281百万円)を実現することができました。

一連の事業移管、合併に伴う要員の増加と事業拡大に伴い、販売費及び一般管理費も増加しましたが事業拡大による利益の増加の範囲内にとどまり、営業利益は前年比69.3%増の2,328百万円、経常利益は前年比59.8%増の2,241百万円、当期利益は前年比59.2%増の1,167百万円といずれも大幅な増益を達成することができました。

2. 部門別の営業概況

[合繊ファイバー]

ファイバーをめぐる商い環境は依然厳しく、名門企業の整理等、今後の業界再編を予想させる年度となりましたが、当社は（株）ロンゼとの合併により、合併効果も加え事業規模が大幅に拡大しました。

衣料用途については定番品の輸出減少という構造的な問題がありましたが、スパンデックス及びその加工糸の国内商いの拡大などに成功し、ほぼ前年並みの実績を確保することができました。

産業資材用途については前年に引き続きシートベルト、エアバッグなどの自動車用途が好調であったことに加え、PPSなど高機能素材の新規輸出を拡大できました。反面、繊維スリングは国内工場の海外移転などによる市場縮小により、売上減を回避できませんでしたが、旧ロンゼ事業を除く、既存分野でも売上高を3.2%増加させることができました。

以上の結果、売上高は前年比29.6%増の33,053百万円となりました。

[綿花・羊毛]

綿花、羊毛とも価格、納期、品質等適切な買付けによる競争力の向上に努めました。綿花については中国の影響などによる世界的な綿花相場の高騰を受け、やむなく売上減となりました。羊毛については、市場縮小の中で、前年度に引き続き三国間取引の拡大に取り組みました。

その結果、売上高は前期比13.8%減の11,591百万円となりました。

[テキスタイル]

年度初めのロンゼとの合併により、特にニットを中心とした国内商内を拡大しました。

輸出では円高による悪環境下ではありましたが、木目細かな顧客対応や費用管理、積極的な展示会活動が奏功し、洋装、スポーツ用途ともに健闘しました。また、輸入では中国などアジア製生地の開

発提案を強化し、日本市場での有力アパレルとのタイアップを進め、実績をあげました。

旧ロンゼの商内では、車両資材・合成皮革の基布等が年間を通して堅調に推移する一方、衣料・ユニフォームでは機能素材を中心に展開をしました。

この結果売上高は前期比を34.0%上回る22,905百万円となりました。

[アパレル]

当社ではアパレル事業を今後の大きな成長が期待できる事業として見据え、前年度に移管受け入れを行いました旧東レ(株)のアパレル事業と合わせ、総合力の強化、効率化を進めました。

国内市場では、OEMでの価格低下要求の受け入れや、小売店頭での全般的な不振を受け、苦戦を強いられた分野もありましたが、全体として東レを中心とした素材提案をベースに、商品力、縫製基盤の整備・強化に努めた結果、事業規模は更に拡大しました。

この結果、売上高は前期比85.2%増の31,010百万円となりました。

[物 資]

インテリア事業は九州、関西地区のカーテンを中心とした有力顧客との取り組みや、ムートン製品、プラスチック製風呂蓋などの輸入商内が順調に推移しましたが、全般的な不振を受け、トータルでは前年を下回ることとなりました。

皮革商内では、米国でのBSEによる相場変動がありましたが、大きな影響を受けることなく順調に推移しました。

以上の結果、当期の売上高は前期を4.5%下回る12,831百万円となりました。

[機 材]

前年度に大きな実績をあげた東レグループ外向けの機材輸出が一服した結果、売上は前年度を下回りましたが、東レグループ向けでは海外向けファイバーや炭素繊維生産設備の輸出が実行されたほか、既存輸出先に対して、操業に伴う補修部品・原料の定期販売を推進いたしました。他方、グループ外の一般向け商内では、中国向けの新規輸出への布石を積極的に行いました。

以上の結果、売上高は前期比20.7%減の18,244百万円となりました。

[情報機材]

電子回路材料、液晶材料での輸出が特に好調であり大幅な躍進を果たしました。他方、印写材料・水処理関連も漸進し、全体として大幅な増収となりました。また、今後の成長分野であるICタグ関連商品について要員を拡充し、またカラーフィルターでの海外拡販への布石を行うなど、成長分野への重点的な経営資源の振り分けを行いました。

この結果、売上高は前期比81.3%増の21,292百万円となりました。

[ケミカル]

合繊原料及び医農薬原料用ケミカル製品の荷動きは順調に推移し、新たにチオコール製品の欧米向け商内も新規に加わり、大幅な増収となりました。トレカ複材も中国・アジア向けトレカ系、プリブレグ、スポーツ材料、パソコン用筐体を中心に全用途に亘り好調を維持しました。

また、中国向け新規ビジネスとして鉄鋼輸出商内を実現しました。

以上の結果、売上高は前期比26.4%増の54,926百万円となりました。

[プラスチック]

全般にIT産業や自動車関連企業からの旺盛な引き合いがあり、順調に取引を拡大しました。樹脂ではIT関連での筐体用途の新規受注もあって、主力商品である透明ABS樹脂が堅調に推移し、またPPSコンパウンド品の輸取出扱も増加致しました。他方フィルムは特に日系メーカーを中心に、東レ(株)の生産能力を超える需要があったため、供給タイトな商品での値上げを浸透させつつ、有力顧客に対する調達確保に注力しました。また、今後の市場成長が期待されるブラジル市場についても更に開拓を進めることができました。

以上の結果、売上高は前期比14.5%増の30,531百万円となりました。

以 上